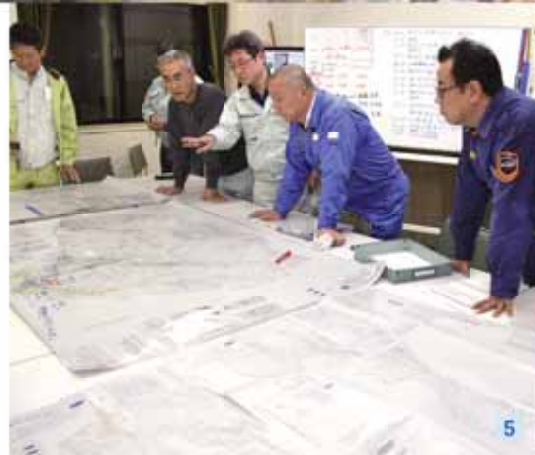




1_大雨で冠水した細江コミュニティセンターの駐車場。午後9時30分ころには、深さ約50cmまで水が溜まり、避難所として使用不可能に。
 2_坂部第一町内会の住宅団地付近でポンプを使い道路に溜まった水を排水する消防団第3分団
 3_大雨で地盤が緩み、斜面にある茶畑が崩落し、道路をふさいだ(勝間田)。このような農地被害は5件
 4_道路の一部が崩落。道路の損壊などの被害は合計71件にもわたる
 5_職員や消防団の役員が庁舎に集まり、さまざまな被害状況を地図などに書き込んだり、市内の状況確認に直接出向く。



時刻	3:27	1:15	1:10	0:30	0:00	23:57	22:40	22:10	21:40	21:30	21:00	20:58	20:50	20:40	20:30	20:10	20:05	19:57	19:36	
大雨・洪水警報が解除	市災害対策本部解散	避難勧告解除	細江消防団閉鎖	大江市民会館閉鎖	勝間田川の水位が氾濫危険水位を下回る	静波体育館、相良小体育館閉鎖	坂口谷川の水位が氾濫危険水位を下回る	川崎コミュニティ閉鎖	坂口谷川の水位が氾濫危険水位(2.8m)まで上昇	細江コミュニティ駐車場の冠水(50cm)を確認し、避難所取り止め	市内3河川流域の1200世帯3600人に避難勧告発令	同報無線、各メールなどにより周知	静波体育館に避難所を開設	細江消防団に避難所を開設	同報無線、各メールなどにより、避難所開設情報、自主避難を呼び掛け	同報無線、各メールなどにより、避難所開設情報、自主避難を呼び掛け	同報無線、各メールなどにより、避難所開設情報、自主避難を呼び掛け	同報無線にて河川の増水による注意を放送	同報無線にて河川の増水による注意を放送	浪警報が発令

豪雨対応の経過(概要)

2013.04.06 まちを襲った豪雨

一時1,200世帯3,600人に避難勧告

急速に発達した低気圧の影響で、4月6日夕方から夜にかけて市を突如襲った豪雨と暴風。平成16年の台風22号以来の雨量を記録。一時1,200世帯3,600人に避難勧告が出され、19世帯46人が避難所に避難。この他、道路の損壊や土砂崩れ、茶畑の崩落、床上・床下浸水などで各地で被害が発生しました。

問い合わせ 危機管理室 飯塚 ☎230058

災害時の情報発信

市では、災害の際に下記の方法で、災害情報などを発信しています。今後は、SNSのフェイスブック(7月開設予定)でも災害情報を発信する予定です。

発信方法

- 同報無線(各家庭での個別受信機、防災ラジオ含む)
- 携帯電話メール「まきのほらTeaメール」
- 各携帯会社「エリアメール」
- 市ホームページ など

「まきのほらTeaメール」

登録は次の方法で
 ①左のQRコードの読み取り
 ②makino@mobign.comに空メール送信

表2 被害状況 *抜粋

種類	内容	件数
浸水	床上浸水	6世帯
	床下浸水	56世帯
道路河川など	道路・河川被害(うち道路・農道)	135箇所(71箇所)
	農地・農業施設	5箇所
	がけ崩れ	7箇所

*この他、一部地域での停電や公共施設の雨漏り、農作物への被害あり

表1 避難状況(ピーク時)

地区	場所	避難者	
		世帯	人数
細江	細江消防館	1	4
静波	静波体育館	6	14
川崎	川崎コミュニティ	6	17
大江	大江市民会館	3	5
相良	相良小体育館	3	6
合計		19	46

*その他、公民館への避難あり

災害に強いまちづくりに向けて

今後、被害のあった地域などと協議し、避難所開設や運営方法の改善に取り組んでいきます。また、災害時の効果的、適切な広報や情報発信のあり方についても、検討していきます。

市内各地で被害が発生

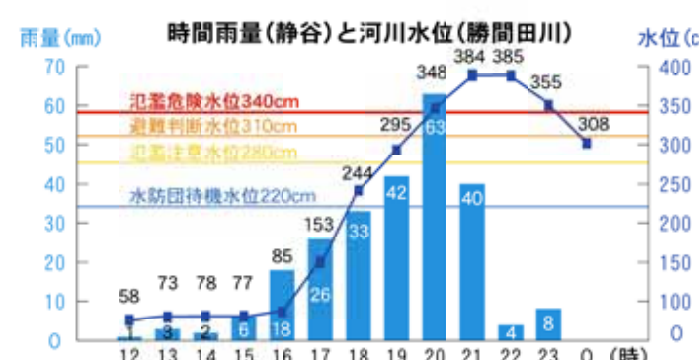
大雨や台風などに備え、市内3河川(秋間川、勝間田川、坂口谷川)には、水位計が設置されており、この水位により段階的基準を設け、職員の参集や避難勧告の発令などの実施をしています。

今回、市は午後8時5分に災害対策本部を設置。河川の水位が増したため、午後8時30分に避難所を開設しました。河川の水位が氾濫危険水位を超えたため、午後9時40分に同報無線や市ホームページ、「まきのほらTeaメール」、携帯会社「エリアメール」など

16年台風22号以来の雨

4月6日、急速に発達した低気圧の影響で県内は大荒れとなりました。

市内では、午後1時過ぎから雨が降り始め、午後5時過ぎから夜にかけて雨量が増加。県の観測施設の数値によると、午後1時ごろから明朝までの総雨量は、静谷(日機株式会社社東側)で247mm。気象庁の観測地点の菊川牧之原で、4月の観測史上最大の24時間雨量を記録し、平成16年の台風22号以来の豪雨となりました。



により、市内約1200世帯約3600人に避難勧告を発令。一時、19世帯46人が市内5つの避難所に避難しました。細江の避難所では、駐車場の冠水し避難所へ入れない事態となり、避難してきた市民を別の場所へ誘導するなど、避難所開設や情報発信をめぐる課題が生じました。

また、豪雨により、市内各地では道路の冠水が相次ぎ、斜面の農地が崩落するなど各地で被害が発生しました。